

# 第三次川越市総合計画

## つづ、まち、未来、みんながほしい つぎは川越

これからのまちづくりの指針となる第三次川越市総合計画が、スタートしました。今回は、「第三章 人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち・都市基盤・生活基盤」を紹介します。

### 計画的なまちづくり

市民と協働で定めた、「川越市都市計画マスタープラン」により、事業を推進してきました。

良好な都市環境を整備するため、都市の状況に応じた土地利用の誘導や都市施設の充実にを図り、計画的なまちづくりを推進していきます。

### 都市拠点の整備

川越の玄関口である、川越・本川越・川越市の各駅周辺は、商業をはじめ多様な業務が集まっています。駅前広場の整備や本川越・川越市駅の両口開設を推進し、にぎわいのある地区としてまちづくりを進めます。

また、歴史的な町並み地区については、歩行者や観光客の安全を確保するため、道路整備を推進していきます。

### 地域生活拠点の整備

昭和四十年代以降の急激な人口増加とともに、市内で開発が行われました。しかし、

地域生活の拠点となる駅周辺では、都市基盤整備が十分ではありませんでした。霞ヶ関地区、新河岸・南古谷駅周辺は、駅前広場の整備などを検討し、地域商業の活性化や安全で快適な住環境の整備を図ります。

### 景観に配慮したまちづくり

良好な景観は、まちの重要な要素です。市民の皆さんや専門家と共に、地域に合った都市景観デザインの基準づくりを進めていきます。

また、川越らしい特色のある町並みを都市景観形成地域に指定し、適正な屋外広告物の掲出を図り、景観に配慮したまちづくりを進めます。

### 道路交通体系の整備

国道254号および国道16

号を結び、市街地の交通量の緩和が期待される「川越北環状線」は、実施主体である県と共に整備を推進します。

市民生活に密着した生活道路は、計画的に整備を進め、快適かつ安全な生活環境の形成を図っていきます。

### 交通円滑化施策の推進

交通渋滞の緩和と、歩行者や自転車の安全を確保するため、交差点の改良や道路の整備を図ります。

また、市街地に入る交通量の抑制や適切な交通規制についても検討していきます。

### 公共交通機関の充実

平成八年に運行を開始した「川越シャトル」は、東西南北の四つのコースで市内を循環し、年間三十万人が利用しています。今後は、路線や運行本数などを見直し、運行経費の削減に努めていきます。

### 治水事業の推進

市の南西部を流れ、不老川と合流する久保川は、集中豪雨などにより、浸水被害が発生しています。このため、久保川の流域にある狭山市と共に、河川改修を進めます。

道路の舗装などで浸透機能の低下した市街地では、浸水防止のため、雨水管や貯留施設を整備するとともに、雨水の有効利用を促進します。

### 水道水の安定供給

安全な水道水を安定して供給するため、浄水場や配水管路などの施設設備を計画的に進めていきます。

### 公共下水道等の整備

家庭などからの生活排水を地域に応じて処理するため、公共下水道や農業集落排水の整備を進めます。また、合併処理浄化槽の設置なども支援

していきます。

### 水辺と森林の整備

水辺や自然と触れ合える場として、伊佐沼周辺や森林公園の整備を進め、自然の保全と活用を図ります。

### 公園の整備と充実

憩いとやすらぎの場として、身近な所に公園を計画的に整備していきます。また、スポーツやレクリエーション活動の拠点となる「仮称」鯨井公園」などの大規模な公園の整備を推進していきます。

### 快適な住宅・住環境の整備

老朽化の進む市営住宅は、多様な手法により建て替えを進めるとともに、高齢者や障害のある方が安心して暮らせる住宅の支援を行います。

問い合わせ：政策企画課政策

担当・TEL内線2112

### 意見公募手続（パブリック・コメント手続）を導入

第三次川越市総合計画などでも実施した、「意見公募手続（パブリック・コメント手続）」を四月一日から制度として導入しました。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。お問い合わせ先は、お問い合わせ：政策企画課政策担当・TEL内線2113

お問い合わせ：政策企画課政策担当・TEL内線2113

川越の美術家たち

# 齋藤研の軌跡展 —アポリアへの挑戦—

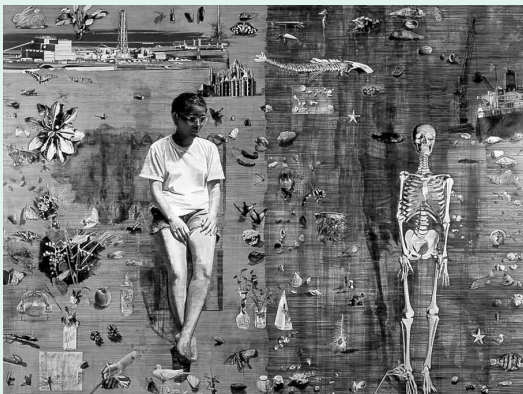
4月22日(土)～6月18日(日)

午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）

市立美術館 TEL228-8080・FAX228-7870



アポリア



断片的なエピソード



別離

市内在住の洋画家・齋藤研<sup>さいとうけん</sup>の画業を振り返り、初期から現在に至る油彩、水彩・素描、立体作品を紹介いたします。

展示される作品は、油彩29点、水彩・素描16点、立体2点です。人物・植物・昆虫・風景をテーマに、繊細に表現された作品や、画面を分離する構成で、パターンを繰り返し画面に表現する方法を用いた作品などを紹介します。

\*アポリアとは、ギリシャ語で解決不能の難問という意味。

休館日…月曜日（5月1日(月)を除く）・4月28日(金)・5月26日(金)

観覧料…一般=500円（400円）▶大学生・高校生=350円（280円）▶中学生以下・障害者手帳持参の方=無料

\*（ ）内は20人以上の団体料金。

\* 特別展の観覧料で常設展示も観覧できます。

## 関連事業

### ●アーティストトーク

講師…齋藤研 日時…5月6日(土)、午後2時～3時30分 経費…観覧料 申し込み…当日直接会場

### ●ギャラリートーク（学芸員による展示解説）

日時…4月29日(祝)・5月20日(土)・6月10日(土)（6月10日は手話通訳あり）、午後1時30分～ 経費…観覧料 申し込み…当日直接会場

### ●ミュージアムコンサート

出演…ソプラノ歌手・伊藤ちる<sup>いとうちる</sup> 日時…4月30日(日)、午後3時～4時 定員…先着80人 経費…無料  
申し込み…4月12日(水)、午前9時から電話またはファクスで市立美術館

### ●デッサン集中講座

講師…齋藤研 日時…5月5日(祝)～7日(日)、午前10時～午後0時30分 定員…15人（抽せん） 費用…500円程度 申し込み…往復ハガキに郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、4月21日(金)（必着）までに〒350-0053郭町2丁目30-1・市立美術館